

ヴォリュームアキュライザーの導入(12)
—Sonica DAC への適用—

1. 始めに

前報(11)に引き続き、OPPO の Sonica DAC に適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

今回は、Sonica DAC においてデジタル音源で VRA-7 の効果を確認します。

VRA-7 を貼る前は、レゾナンスチップを貼っていますが、これを除いて VRA-7 に張り替えます。



TruPhase 以降は、前報(2)と同様の経路ですが、デジタル音源の再生は次のルートで行い、Brooklyn DAC+から TruPhase に入力します。

BS 放送録画

DMR-UBZ1→Sonica DAC→DA3000→Brooklyn DAC+

BPODCH

DMR-UBZ1→Sonica DAC→DA3000→Brooklyn DAC+

Spotify Connect

Sonica DAC→DA3000→Brooklyn DAC+

音源は、聴きなれたものを選定します。なお、BS 放送録画は演奏会で聴いてきたものを選定しました。

BPODCH

マーラー 交響曲第3番ニ短調

ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィル

BS 放送録画

ベートーヴェン ピアノと管楽器のための5重奏作品16

アンサンブルディアローギ

Spotify Connect

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

神尾真由子

3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴結果

BPODCH は、マーラーの大編成ものですが、TruPhase に適用したような顕著な効果はなく、ほんの少し音が和らいだかなと言える程度です。

BS 放送録画は、演奏会で聴いてきたピアノフォルテと4つの木管の古楽アンサンブルの演奏曲です。TruPhase に適用したような顕著な効果はなく、ほんの少し古楽器の音のニュアンスが増したかなと言える程度です。

Spotify Connect は、神尾真由子のストラディバリウスの艶がほんの少し向上したかなと言える程度です。

Sonica DAC は、再生経路中スピーカーからみてずっと上流であり、恐らくはデジタルヴォリュームなので、効果が出にくいものと予想していましたが、そのとおりになりました。

4. まとめ

Sonica DAC のヴォリュームへの適用により、各種デジタル音源の再生におけるVRA-7の効果は、はっきりと効果があると言えるほどのものではありませんでした。

以上